

GENERAL RULES

for Japan 決勝大会 Ver.1.0



JAPAN

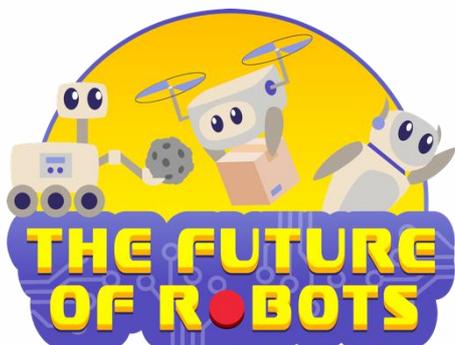
ROBO MISSION

BUILD AND PROGRAM
A ROBOT THAT SOLVES
TASKS ON A FIELD

AGE GROUPS:

8-12 / 11-15 / 14-19

WRO® 2025 THE FUTURE OF ROBOTS



WRO international premium partner



WRO international gold partners



Table of Contents

1. General information.....	2
2. Team and Age Groups definitions.....	
3. Responsibilities and team’s own work	
4. Game documents and rule hierarchy.....	
5. Robot material & regulations.....	
6. Technical summary of the robot.....	
7. Game table and equipment	
8. Potential elements of a competition day	
9. Tournament Format and Procedure	
10. Robot attempt.....	
11. Format and ranking at WRO International Final.....	
A. Glossary	
B. Template Technical Summary	
C. List of potential robotic sets.....	
D. Examples and explanations for competition elements.....	
E. Additional ideas	

※ このルールブックは、WRO 2025 RoboMission General ルールをもとに、WRO Japan RoboMission 競技委員会が WRO 2025 Japan 決勝大会 RoboMission カテゴリ用に一部を修正し、その修正部分だけを記載しています。国際ルールの削除についての記載のない項目は、国際大会の General ルールに準じて実施します。

3.5 チームメンバーは次のものはピットエリアや競技エリアに持ち込んではいけない。

- ・ 携帯電話やスマートフォン，スマートウォッチなど外部と通信できるもの
- ・ 紙やデジタルを含め，いかなる形式であっても文字で書かれたもの，図解したもの，写真など競技のアドバイス等につながるもの。ただし，ロボットやルールに関する文書の持ち込みは許可する（国際ルール5.13）。
- ・ USBメモリやSDカードなど外付けの記録媒体。ただし，組み立て調整時間より前にロボットのSDカードスロットやUSBなどに挿入しておいたSDカードやUSBメモリは除く（国際ルール5.10）
- ・ カメラやビデオカメラなどメモリ機能のあるもの

※ 国際ルール 3.5 は削除

4.4 WRO Japan 決勝大会当日のルールは，以下の①から⑥までの階層があり，⑥が最上位階層であり，大会当日のRoboMission 競技委員会の判断を最終判断とする。

※ 国際ルール 4.4.1 から 4.4.4 は削除

【エキスパート競技】

- ① WRO 2025 国際大会のRoboMission General Rules
- ② WRO 2025 国際大会のRoboMissionの各部門の競技ルール
- ③ WRO 2025 Japan 決勝大会の定めたGeneralルール（このルールブックの内容）
- ④ WRO 2025 国際大会におけるQ&A（8/15（金）までの内容）
- ⑤ WRO 2025 Japan 決勝大会におけるQ&A（8/12（火）まで質問受け付け）
- ⑥ 大会当日のRoboMission競技委員会の判断

【ミドル競技】

- ① WRO 2025 国際大会のRoboMission General Rules
- ② WRO 2025 Japan 決勝大会の定めた各部門の競技ルール
- ③ WRO 2025 Japan 決勝大会の定めたGeneralルール（このルールブックの内容）
- ④ WRO 2025 国際大会におけるQ&A（Japan決勝大会の競技ルールに関連する部分（11/21（金）までの内容））
- ⑤ WRO 2025 Japan 決勝大会におけるQ&A（11/18（火）まで質問受け付け）
- ⑥ 大会当日のRoboMission競技委員会の判断

6. ロボットの仕様書

- 6.1 チームは、ロボットの仕様書（国際ルール 17 ページ B. 参照）を作成し、提出しなければならない。仕様書は、実際のロボットを反映させたものでなければならない。
- 6.2 仕様書は、A4 用紙 1 ページを超えてはいけない。
- 6.3 仕様書は、日本語で記述し、読みやすい文字サイズを使うこと。
- 6.4 仕様書の提出は、Web フォームを利用し、事前に提出してもらいます。期限までに仕様書の提出がない場合は、競技はエキシビジョンとなります。

※ 国際ルール 6 は削除

- 7.2（補足）Japan 決勝大会では、競技コースの枠の高さは 50mm で実施する。
- 7.3（補足）Japan 決勝大会では、競技マットの素材はスタンダードターポリンを使用し、国際ルールで配布されている競技マット用の PDF ファイルを印刷した競技マットを使用する（（株）アフレルにて販売しています）。

※ 国際ルール 7 の補足

- 7.6 固定しなければならないオブジェクトは、厚みが薄く、粘着力が強力な両面テープで固定する。

※ 国際ルール 7.6 は削除

- 8.2（補足）サブライズルールは、エキスパート競技における Japan 決勝大会の予選ラウンド（8/23）のみ実施する。

- 8.3（補足）WRO 2025 Japan 決勝大会において、エクストラタスクは、ありません。

※ 国際ルール 8 の補足

8.5 On-Day-Challenge は、エクストラチャレンジとして、Japan 決勝大会の決勝ラウンド（8/24）の一部で実施する。エクストラチャレンジは、ルール発表後、一定時間を練習時間として確保し、車検実施後、順に時間計測を行う。

※ 国際ルール 8.4, 8.5, 8.6 は削除

9.1 WRO 2025 Japan 決勝大会は、次のように実施する。

9.1.1 エキスパート競技は予選ラウンドと決勝ラウンドの二日間（8/23, 24）で実施する。なお、それぞれのラウンドに出場するチームについては、11 で説明する。

9.1.2 ミドル競技は一日のみ（12/7）オンラインで実施する。実施方法は別途説明する。

9.1.3 大会当日は、ロボットを組み立てた状態で持参してよい。

※ 国際ルール 9.1 は削除

【予選ラウンド】

- ① サプライズルール発表
- ② 試走（60分を予定）
- ③ 車検（スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと（国際ルール9.7）。）
- ④ 競技会（各部門の競技ルールに当日発表のサプライズルールを加えた競技会）
- ⑤ 試走（30分を予定）
- ⑥ 車検（スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと。）
- ⑦ 競技会（各部門の競技ルールに当日発表のサプライズルールを加えた競技会）
- ⑧ 結果発表（決勝ラウンドに進出できるチームを発表）

【決勝ラウンド】

- ① 試走（30分を予定）
- ② プレゼン審査（シニア部門の予選ラウンド敗退チーム） ※ 競技会と並行して実施
- ③ 車検（スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと（国際ルール9.7）。）
- ④ ミッションチャレンジ競技会（各部門の競技ルールに沿った競技会）

- ⑤ 試走（15分を予定）
- ⑥ 車検（スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと。）
- ⑦ ミッションチャレンジ競技会（各部門の競技ルールに沿った競技会）
- ⑧ エクストラチャレンジ競技ルール発表
- ⑨ 試走（70分を予定）
- ⑩ 車検（スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと。）
- ⑪ エクストラチャレンジ競技会（当日発表のエクストラチャレンジルールに沿った競技会）
- ⑫ 試走（20分を予定）
- ⑬ 車検（スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと。）
- ⑭ エクストラチャレンジ競技会（当日発表のエクストラチャレンジルールに沿った競技会）
- ⑮ プレゼン審査（シニア部門の決勝ラウンド進出チーム）※ 競技会と並行して実施

9.7（補足）車検台には、スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと。つまり、実行するプログラムを選択した状態、もしくは、実行プログラムを実行した状態で置くことになる。ただし、LEGO SPIKE PRIME は本体が一定時間経つと自動で切れるので、公平にプログラム選択できないよう、実行プログラムは「0」に入れておくこと。

※ 国際ルール 9.7 の補足

9.9 予選ラウンドが終了した後、各チームはPC やロボット、バッテリーなどは持ち帰ること。夜間に大会会場で充電することはできない。

※ 国際ルール 9.9 は削除

9.10 チームのランキングは、10 で示す方法で決定する。

※ 国際ルール 9.10 は削除

11. WRO Japan 決勝大会でのランキングは、次のように決定する。

※ 国際ルール 11.1 から 11.5 は削除

【予選ラウンド】

- ① ミッションチャレンジにサプライズルールを加えたベストポイントの高い順
- ② ①が同点の場合、ベストポイントの競技時間の早い順
- ③ ②が同点の場合、セカンドポイントの高い順
- ④ ③が同点の場合、セカンドポイントの競技時間の早い順
- ⑤ ④が同点の場合、同率の順位とする

【決勝ラウンド】

- ① ミッションチャレンジとエクストラチャレンジのベストポイントの合計点の高い順
- ② ①が同点の場合、ミッションチャレンジとエクストラチャレンジのベストポイントの競技時間の合計時間の早い順
- ③ ②が同点の場合、エクストラチャレンジのベストポイントの高い順
- ④ ③が同点の場合、エクストラチャレンジのベストポイントの時間の早い順
- ⑤ ④が同点の場合、ミッションチャレンジのベストポイントの高い順
- ⑥ ⑤が同点の場合、ミッションチャレンジのベストポイントの時間の早い順
- ⑦ ⑥が同点の場合、エクストラチャレンジのセカンドポイントの高い順
- ⑧ ⑦が同点の場合、エクストラチャレンジのセカンドポイントの時間の早い順
- ⑨ ⑧が同点の場合、同率の順位とする

12. WRO Japan 決勝大会への選抜については、部門ごとに次の通りとする。なお、予選会から選抜されるチームは、各予選会に委ねる。

※ 国際ルールに追記

- ① 出場チームが多かった地区予選会で1位のチームをシードチームとして選抜（およそ12チーム）し、そのチームは決勝ラウンドから出場できる。
- ② ①のチームを除き、各予選会から従来通りの割り振りでチームを選抜（およそ36チーム）し、そのチームは予選ラウンドから出場する。
- ③ ②で選抜されたチームは予選ラウンドを戦い、その上位チーム（およそ12チーム）が決勝ラウンドに進める。

13. プレゼン審査（エキスパート競技 シニア部門のみ該当）

※ 国際ルールに追記

エキスパート競技 シニア部門に出場するすべてのチームは、決勝ラウンドの当日にプレゼン審査を行います。詳しい内容は、別紙「プレゼン審査について」の資料を確認してください。

予選ラウンドで敗退したチームは、決勝ラウンド当日の午前中にプレゼン審査を実施します。審査員の指示にしたがって、各チームはロボットを持って、プレゼンエリアの自チームのプレゼンシートの前に移動し、プレゼン審査を受けてください。

決勝ラウンドに進んだチーム、および、シードチームは、エクストラチャレンジの2回目を終了し、得点集計が終わった後、主審の指示にしたがって、各チームはロボットを持って、プレゼンエリアの自チームのプレゼンシートの前に移動し、審査員の指示にしたがって、プレゼン審査を受けてください。プレゼン審査終了後は、ロボットを車検台に置き、ピットへ戻ってください。

14. オンラインソリューションへの対策

※ 国際ルールに追記

WRO では、ロボット競技を通じて、子どもたちがロボットの機構や制御プログラミングを学習し、身に付ける機会を与えることを目的としています。そのため、競技会は学習の成果を試す場所と考えています。しかし、残念なことに、近年、国内外では、子どもたちへの学習ではなく、競技に勝つことだけを目的とした指導も増え、また、Web 上には、オンラインソリューションとして RoboMission エキスパート競技を攻略するロボットがさまざま公開されており、中には、販売しているものも出てきています。

そこで、Japan 決勝大会では、以下のようにロボットの写真とプログラムファイルを提出していただき、競技委員長とチーフジャッジにて事前審査を行います。

また、Japan 決勝大会において、試走時間や車検時間などの競技時間中に、チーフジャッジは確認のため、チームのロボットやプログラムに関連して質問する場合があります。選手は、それを拒むことをせず、説明してください。

なお、Japan 決勝大会 RoboMission 競技委員会へ提出したロボットやプログラムが大きく変わったときは、Japan 決勝大会 2 日前までに再提出してください。

① 提出物

- A) Japan 決勝大会に出場するロボットの前後左右上下 6 面の写真（最終ページ参照）

- B) Japan 決勝大会に出場するロボットのプログラムファイル（LEGO 社のアプリケーション以外のプログラミング環境で作成したプログラムに関しては、その環境についての説明書も添付）

② 提出方法

WRO Japan の Web ページ内におけるフォーム（後日指定）

③ 罰則

提出されたものと Japan 決勝大会に出場しているロボットやプログラムが明らかに異なっている場合、競技はエキシビジョンとなります。

さらに、ロボットの写真やプログラムを期限までに提出していなかった場合や審判からの質問に答えなかった場合、競技はエキシビジョンとなります。また、審判からの質問に対し、うまく答えられなかった場合もエキシビジョンとなる場合があります。

④ データの取り扱いについて

提出されたロボットの写真やプログラムについては、General Rules の「3. Responsibilities and team's own work」について確認するためだけに利用し、Japan 決勝大会当日までは、RoboMission 競技委員長、および、チーフジャッジのみが閲覧可能とし、ロボットの機構やロボットのプログラムの著作権は保護いたします。なお、Japan 決勝大会当日は、車検時にロボットの確認のため審判がロボットの写真を利用する場合があります。

Japan 決勝大会終了後は、提出されたすべてのデータを RoboMission 競技委員長が責任をもって破棄いたします。

【提出写真の例】

1. ファイル形式

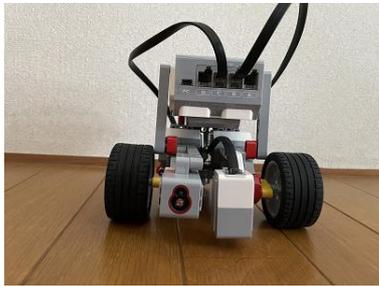
提出してもらう写真のファイル形式は、

- ・ JPEG 形式（拡張子：.jpg, または, .jpeg）
- ・ PNG 形式（拡張子：.png）

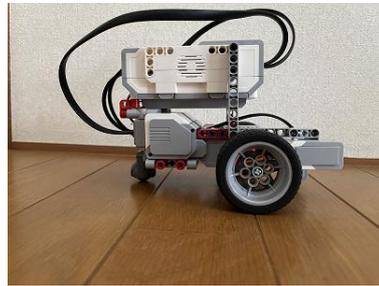
のいずれかとし、圧縮せずにアップロードすること。

2. 提出写真例

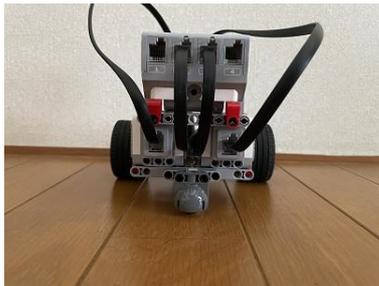
ロボットの写真は、次のように 6 方向から撮影すること。



正面



右側面



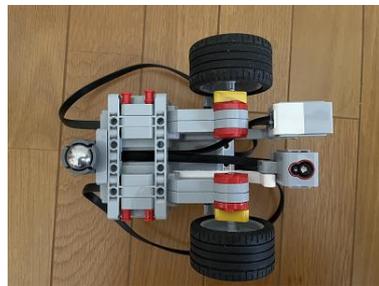
背面



左側面



上面



下面

以上